



土 木 研 究 所 資 料

第1049号

道路事業の実施にかかる調査試験の打合せ会議(第2回)
(構 造 物 関 係)

議 事 録

昭和50年2月

建設省土木研究所

目 次

1. 議 事 録	1
2. 橋・高架の道路の基礎に関する調査試験	5
3. 橋・高架の道路の耐震に関する調査試験	15
4. 橋・高架の道路における交通振動等に関する調査試験	23
5. 橋・高架の道路の上部構造に関する調査試験	27

I 道路事業の実施にかかる調査試験の打合せ会議（第2回）

議 事 録

1. 日 時 昭和50年2月24日 14:00～17:30
2. 場 所 首都高速道路公団南青山分室
3. 出席者 土木研究所 本 所 藤 田 システム課専門官
太 田 コンクリート研究室長
小 林 コンクリート研究室主任研究員
森 化学研究室主任研究員
千葉支所 市 原 支所長
大久保 構造橋梁部長
駒 田 基礎研究室長
栗 林 振動研究室長
成 田 構造研究室長
佐 伯 橋梁研究室主任研究員
朝 倉 " 研究員
飯 田 振動研究室研究員
岡 山 基礎研究室研究員
大志万 "
日本道路公団 細 井 技術部長
三 瀬 構造設計課長
中 島 " 課長代理
伊 藤 " 課技師
近 藤 試験所基礎構造試験室長
首都高速道路公団 西 山 設計技術課長
加 藤 設計技術課調査役
大 内 設計技術課長補佐
沼 田 " "
阪神高速道路公団 田井戸 設計課長
橋 本 設計課係長
本州四国連絡橋公団 大 橋 設計第一課長
沢 井 設計第二課長
島 田 設計第三課長
村 上 設計第三課技師

1. 資料説明

日本道路公団（資 1 - 3、2 - 3、3 - 1、4 - 5）

首都高速道路公団（資 1 - 4、2 - 4、4 - 6）

阪神高速道路公団（資 1 - 5、2 - 5、4 - 7）

本州四国連絡橋公団（資 1 - 6、2 - 6、4 - 8）

2. 質疑応答

2 - 1 3 公団より仮設構造物に関する調査研究が出されているが連絡調整はとられているか
（大久保）

道路協会で全国ベースの基準を作りつつある。これが全体の要となるであろう。ついでに 4 公団にはかり問題点を整理したい。（駒田）

3. 土木研究所資料説明

3 - 1 システム課（資 1 - 1、4 - 1）

3 - 2 化学研究室（資 4 - 2）

3 - 3 コンクリート室（資 2 - 1、4 - 3）

3 - 4 基礎室（資 1 - 2）

3 - 5 振動室（資 2 - 2）

3 - 6 構造室（資 3 - 1）

3 - 7 橋梁室（資 4 - 4）

4. 質疑応答

4 - 1。資料 10 の衝撃係数の測定方法はどのようなものか。（道路公団）

○ 静荷重と動的荷重の比を衝撃係数としてデータ集収中である。（橋梁）

4 - 2。資料 5 の中には床版の補強もはいつているのか。（阪神）

○ 床版に主力を注いでいる。（橋梁）

4 - 3。交通振動と苦情との関連で騒音の影響は考えているのか。（本四）

○ 騒音も合せて考えている。（構造）

4 - 4。床版の疲労問題については他の公団、土木研究所ではどのように対処しているか。

（阪神）

○ 実験方法がまだ確立していない。現在では両振れせん断試験を行なっているか明

らかな見通しは立っていない。（橋梁）

4 - 5。軟弱地盤の偏載荷重について被害実例はあるのか。（道路）

○ かなりある。配布資料にのっている。情報交換を行ないたい。（基礎）

4 - 6。S・R・C については、本四、首都公で指針づくりを行なっているが、土研はどの

ように考えているのか。（本四）

II. 橋・高架の道路の基礎に関する調査試験

。49年度原案をつくる予定である。

(コンクリート)

5. 総括討議

5-1。風の問題、床版の疲労設計、舗装、トンネルに関するものを議題として取り上げるか。

(大久保)

。鋼床版部舗装についてはぜひ入れていただきたい。

(本 四)

5-2。標準設計について公団、府県等で作成したものとの調整を土研で行なってもらいたい。

(本 四)

。標準設計の改訂に際して各機関の人に出席していただいているので、その場で連絡調整を計りたい。

5-3。電算プログラムの全国的な登録を行い、チェックシステムを確立してほしい。

(首 都)

。国土開発技術センターに働きかけて作っていききたい。

(大久保)

。小規模なものは現在登録され使用可能である。

(システム)

5-4。メンテナンスの面で検査路、吊金具、登機橋などの基準を作成したが、これについて他公団との情報交換をお願いしたい。

(阪 公)

。防錆、防食指針を作成したが、その中に点検用金具についての規定がある。

5-5。コンクリートのひび割れ、鉄筋の防錆について、アメリカでは塗布材を用いているようであるが、これについてどう考えられているか情報交換をお願いしたい。

(大久保)

。現在、基本的なことを勉強中である。

(首都公)

5-6。高欄、防護欄に対する設計荷重について統一的な場で検討していただきたい。

(道路公団)

。鋼橋分科会で検討している。

6. 調整を要する事項

- | | |
|------|------------------|
| 基 礎 | 1. 矢板式基礎 |
| | 2. 仮締切基準 |
| | 3. 偏圧による側方流動 |
| | 4. 構造設計(ケーソン頂部等) |
| 上部構造 | 1. 床版の疲労設計 |
| | 2. 床版の補修・補強 |
| | 3. 架設基準(対風・地震) |
| | 4. S・R・Cの調査研究 |
| | 5. 高強度部材 |

6. 鋼床版の舗装

7. 点検用の設備

8. 防護柵

耐 震

1. 総プロ（鋼構造、R C、矢板基礎、設計指針）

2. 強震観測

3. 落橋防止構造

4. 地盤の流動化

交通振動

1. 交通振動

2. 振動防除対策工法

共 通

1. 標準設計の制定、改訂、他機関との調整

2. 自動設計の作成

3. 鋼材の防錆防蝕

4. 電算プログラムの登録

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の基礎に関する調査試験	土木研究所システム課
昭和49年度の調査試験の結果 (1) ニューマチックケーソン自動設計 (2) クイ基礎（打込杭）自動設計 (3) 橋梁下部工の自動設計（標準設計の改訂） ○ 橋台（重力式、逆T式、控え壁式） ○ 橋脚（小判形、円形）	
昭和50年度の調査試験計画 (1) ニューマチックケーソンにおける設計条件の感度分析 (2) オープンケーソンの自動設計 (3) 橋梁下部工の直接設計の検討	
調整等を要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の基礎に関する調査試験	土木研究所基礎研究室
昭和49年度の調査試験の成果 (1) 摩擦群ぐいの支持力と沈下模型実験(部費) (2) 鋼管ぐいの先端閉塞効果模型実験(道路調査費) (3) くいの鉛直支持力算定式の提案(道路調査費) (4) くいの鉛直載荷試験集の作成(道路調査費) (5) 軟弱地盤上橋台など偏土圧を受ける構造物の調査(道路調査費) (6) ロータリーフォイルサンプラーによる砂礫地盤試料採取法(道路調査費) (7) セル、矢板式基礎の構造特性の解析・実験(道路調査費、総プロ) (8) 海中構造物の設計施工調査(道路調査費) (9) 地盤改良工法に関する資料収集(道路調査費) (10) 河川構造物基礎の設計施工例調査(河川調査費) (11) 標識、照明柱基礎の実験・解析(道路調査費) (12) 大型基礎に対する地盤支持力の算定(本四) (13) くいとフーチングの結合部の設計	
昭和50年度の調査試験計画 (1) 摩擦群ぐいの支持力と沈下模型実験(部費) (2) 鋼管ぐいの先端閉塞効果模型実験(道路調査費) (3) くいの水平載荷試験集の作成(道路調査費) (4) 軟弱地盤上橋台など偏土圧を受ける構造物の解析(道路調査費) (5) ロータリーフォイルサンプラーによる砂礫地盤試料採取法(道路調査費) (6) セル、矢板式基礎の構造特性の解析・実験(道路調査費、総プロ) (7) 海中構造物の設計施工調査(道路調査費) (8) 地盤改良の土圧軽減に関する検討(下水道調査費) (9) 河川構造物基礎の設計施工例調査(河川調査費) (10) 仮締切の設計施工基準作成に当たりの問題点の検討(道路調査費) (11) 吊橋アンカーのクリープに関する解析(道路調査費) (12) 軟岩のクリープ試験と解析(本四) (13) 道路橋耐震設計指針の流動化規定の運用基準の検討	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の基礎に関する調査試験	土木研究所基礎研究室
調査等を要する問題点 (1) 安治川橋基礎（矢板式基礎）の模型実験（阪神公団）と、土木研究所の矢板式基礎の構造特性に関する研究（国土開発技術センター基礎工部会）と調整したい。 (2) 仮締切設計施工基準の作成に当って各機関で基本的事項、用語の調整をしたい。	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の基礎に関する調査試験	日本道路公団
昭和49年度の調査試験の結果 1. 斜面上の柱状構造物に関する模型実験 2. ケーソン止水壁の設計法に関する実験的研究 3. 仮設構造物の設計施工実態調査 4. 中掘り式PCクイ基礎の載荷試験	
昭和50年度の調査試験計画 1. 軟弱地盤中の構造物における側方流動の影響調査 2. ケーソン頂版の設計法に関する試験研究 3. 斜面上の柱状構造物に作用する土圧の実測 4. 摩擦グイの支持力に関する試験研究 5. 仮設構造物の設計基準の作成	
調整等を要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の基礎に関する調査試験	首都高速道路公団
昭和49年度の調査試験の成果 1. 山留に作用する土圧の検討(その1) 2. 基礎の地震時耐力の研究(その1) 3. 軟弱地盤上の舗装構造の検討(その2)	
昭和50年度の調査試験計画 1. 山留に作用する土圧の検討(その2) 2. 基礎の地震時耐力の検討(その2) 3. 軟弱地盤上の舗装構造の検討(その3)	
調整等を要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の基礎に関する調査試験	阪神高速道路公団
昭和49年度の調査試験の成果 (1) 鋼管矢板基礎の構造特性に関する模型実験 (2) 仮設構造物設計方針に関する研究	
昭和50年度の調査試験の計画 (1) 鋼管矢板基礎の実験解析 (2) 仮設構造物設計方針に関する研究	
調整等を要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の基礎に関する調査試験	本州四国連絡橋公団
昭和49年度の調査試験の成果 (1) 鉄骨鉄筋コンクリート構造物の設計指針(案)の作成 (2) 橋梁用マスコンクリート施工基準(案)の作成 (3) 鋼製ケーソンの設計要領(案)の作成 (4) 潮流による洗掘についての現地実験と水理模型実験 (5) 本四架橋の基礎地盤地質の検討(土質工学会委託)	
昭和50年度の調査試験計画 (1) 斜面上の直接基礎に関する設計法 (2) トンネルアンカーの設計法 (3) 防蝕に関する調査研究 (4) 海峡に於ける水理模型実験 (5) 本四架橋の基礎地盤の力学特性検討(土質工学会委託) (6) 砂礫地盤(大阪層群、明石層)のクリープ特性の調査研究(土研委託)	
調整等を要する問題点 特に(1)、(2)、(3)、(5)、(6)については他機関の情報交換及び協力をお願いしたい。	

Ⅲ. 橋・高架の道路の耐震に関する調査試験

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の耐震に関する調査試験	土木研究所 コンクリート研究室
昭和49年度の調査試験の成果 「鉄筋コンクリート土木構造物材接合部の耐震強度の解析」 (総プロ) (国土開発技術研究センター委託) 主として独立柱形式橋脚を対象として、つぎの調査・研究を行なった。 1) 内外のRC耐震設計規準の検討 2) 新耐震設計基準作成のための検討 ◦地震時限界状態 ◦耐震構造細目(含、鉄筋継手の試験) ◦動的解析手法 3) 事例研究	
昭和50年度の調査試験の計画 「鉄筋コンクリート土木構造物材接合部の耐震強度の解析」 (総プロ) (国土開発技術研究センター委託) 49年度調査研究の継続 1) 新・耐震設計基準素案の作成 2) 構造細目(鉄筋継手、柱～フーチング定着部)の試験 3) 試設計 4) 事例研究	
調整等要する問題点 ◦実験内容については他機関におけるものとの重複をさけ、実験成果については各機関相互に交換して有効な活用をはかることがのぞましい。	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の耐震に関する調査試験	土木研究所振動研究室
昭和49年度の調査試験の成果 (1) 1974年伊豆半島沖地震の現地調査および解析 (2) 強震観測体制の整備ならびに強震記録・デジタル数値の公刊(土研資料967号) (3) 全国地盤流動化履歴地図の作成および土の動的変形特性試験法の開発 (土研1報30号、土研資料912号、955号) (4) 落橋防止構造の現況調査 (5) 地震時における地盤の変形を考慮した基礎杭の応力算定法の開発 (土研資料972号) (6) 東京湾横断道路橋、横浜港口斜張橋の地震応答解析 (7) 構造物および部材の耐震性向上に関する調査研究 (総プロ) (i) 矢板式基礎などくいを用いた基礎の施工性と構造特性に関する研究 (基礎研担当) (ii) コンクリート部材の耐震性向上に関する調査研究 (コンクリート研担当) (iii) 土木鋼構造物の耐震設計法に関する調査研究 (橋梁研担当) (iv) 地震動の入力および地盤の動的挙動に関する研究	
昭和50年度の調査試験計画 (1) 土木構造物の地震応答および耐震安全性に関する研究 (2) 強震観測体制の整備ならびに強震記録・デジタル数値の公刊 (3) 道路施設の耐震性判定法に関する試験調査 (4) 地震動および地盤の動的挙動に関する試験調査 (5) 橋に関する試験調査・耐震調査 (6) 構造物および部材の耐震性向上に関する調査研究 (総プロ)	
調整等を要する問題点 (総プロ): 共通耐震設計指針(50~51)	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の耐震に関する調査試験	日本道路公団
昭和49年度の調査試験の成果 1. 曲線橋の振動解析及び実験結果の調査 1. 多柱式基礎の振動解析及び実物試験 1. 落橋防止構造の設置基準及び設計基準に関する研究	
昭和50年度の調査・試験の計画 1. 過去(41年度～49年度)に日本道路公団で動的解析を実施した成果のとりまとめ。	
調整等を要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の耐震に関する調査試験	首都高速道路公団
昭和49年度の調査試験の成果 1. 地震記録の整理（過去7年間の一次整理）	
昭和50年度の調査試験の計画 1. 地震記録の整理、解析	
調整等を要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の耐震に関する調査試験	阪神高速道路公団
昭和49年度の調査試験の成果 (1) 斜張橋の耐震性に関する振動実験	
昭和50年度の調査試験の計画	
調整等を要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の耐震に関する調査試験	本州四国連絡橋公団
昭和49年度の調査試験の成果 (1) 砂地盤に於ける基礎模型振動実験（防災センターの大型振動台使用） (2) 砂礫地盤（大阪層群明石層）の地震時特性 (3) 吊橋上部構造の地震時応答解析	
昭和50年度の調査試験計画 (1) 49年度(1)の解析及び実地盤に於ける基礎模型振動実験（防災センターの大型振動台使用） (2) 砂礫地盤（大阪層群明石層）の地震時特性 (3) 明石海峡大橋の耐震性に関する調査（土木学会委託） (4) 軟弱地盤（番ノ洲埋立地）上の高架橋の耐震性に関する調査 (5) 吊橋上部構造耐震設計要領の作成	
調整等を要する問題点 (3)、(4)については、他機関との情報交換と協力をお願いしたい。	

IV. 橋・高架の道路における交通振動等に関する調査試験

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路における交通振動に関する試験調査	建設省土木研究所 構造研究室
〔昭和49年度の調査試験の成果〕 1. 現用の公害用振動計の動特性を調査し、単位相互間（VL、VAL、VEL）の変換方法を明らかにするための資料を得た。 2. 交通振動に係るデータの整理方法を調査し、L_{95}による評価の妥当性を検討した。 3. 建設工事および道路交通による地盤振動と苦情の相関調査、および道路の修繕工事の地盤振動に及ぼす効果に関する調査を地方建設局（開発庁を含む）を実施した。 4. 現地調査を行ない、地盤改良効果、地盤振動の伝播特性、一般交通量と地盤振動の時間変化等に関する資料の収集を行なった。	
〔昭和50年度の調査試験の計画〕 1. 振動単位の変換、評価法を確定し、統一した方法に従った調査の実施を可能とする。 2. 前年度項目3を一部修正の上、第2回目の調査を実施する。 3. 自動車荷重と地盤振動の関係を総括する。 4. 道路交通振動の要因分析とその対策の調査を実施する。	
〔調整等を要する問題点〕 1. 他機関において実施した既調査の結果、特に高架橋と道路交通振動の関係についての調査結果の資料の交換を計りたい。	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路における交通振動等に関する調査試験	日 本 道 路 公 団
昭和49年度の調査試験の成果 1. 東名高速道路の交通荷重による振動測定	
昭和50年度の調査試験の計画 1. 橋梁高架部の交通荷重による振動測定	
調整等を要する問題点	

V. 橋・高架の道路の上部構造に関する調査試験

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の上部構造に関する調査試験	土木研究所システム課
昭和49年度の調査試験の成果 (1) ポストテンション方式PC単純T桁橋自動設計の拡張 (2) 活荷重合成桁橋自動設計の拡張の検討 (設計から製作にいたるまでの検討) (3) PC T桁橋の直接設計法の検討開発 (4) PC桁の寸法公差に関する調査	
昭和50年度の調査試験の計画 (1) 活荷重合成桁橋自動設計の拡張 (2) RCスラブ橋の自動設計 (3) Hビーム橋の自動設計	
調整等を要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の上部構造に関する調査試験	土木研究所化学研究室
昭和49年度の調査試験の成果 (1) コンクリート中の鉄筋の腐蝕(土木研究費・大規模) (2) 鋼橋の塗り替え方法(大規模) (3) 海洋環境における塗装による防錆防食(大規模) (4) 高力ボルトおよび高力ボルト接合面の防錆(大規模) (5) 海中および海底土中における電気防食(大規模) (6) 海洋環境における鋼材その他金属材料の腐食(大規模) (7) 重防食被覆鋼管杭の開発(総合開発プロジェクト) (8) 本四連絡橋用塗料の調査試験(本四公団受託)	
昭和50年度の調査試験の計画 (1)～(8)までの調査試験の継続 (9) コンクリート基礎盤の鋼杭の腐食および防食(大規模)	
調整等を要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の上部構造に関する調査試験	土木研究所 コンクリート研究室
昭和49年度の調査試験の成果 (1) 材料関係 1) 高強度材料(ファイバーコンクリート、レジンコンクリート)の利用 — 文献調査 — (部 費) 2) 高炉スラグの利用 — コンクリート物性の試験 — (部 費) 3) 骨材関係 — 骨材洗滌に用いる凝集剤がコンクリートの品質に及ぼす影響 — (河川総合開発) 4) セメントコンクリート舗装の耐摩耗性向上 — 現地調査、室内実験 — (道路事業調査費) (2) 構造関係 1) プレキャスト部材接合部の設計・施工法 — 鉄筋定着に関する試験 — (道路事業調査費) 2) SRC非対称梁(曲げ、せん断)の設計法 — 静的および動的載荷試験 — (大規模) 3) RC部材の耐震設計法〔別紙・耐震に関する調査試験〕 (総プロ)	
昭和50年度の調査試験の計画 (1) 材料関係 1) 高強度材料(ファイバーコンクリート、レジンコンクリート)の利用 — 力学的性質等の試験 — (部 費) 2) 高炉スラグの利用 — スラグ水を多量に用いたコンクリートの物性の試験 — (部 費) 3) 骨材関係 — 物理的・化学的性質と耐久性、汚濁水の利用など — (河川総合開発) 4) セメントコンクリート舗装の施工法 — 施工の能率改善、初期ひびわれ防止 法 — (道路事業調査費) (2) 構造関係 1) プレキャスト部材接合部の設計施工法 — 橋脚と基礎との接合部の部材実験、 鉄筋重ね継手の疲労・クリープ試験、膨張コンクリートの利用法検討 — (道路事業調査費) 2) SRC隅角部の設計法 — 部材実験 — (大規模) 3) RC部材の耐震設計法〔別紙・耐震に関する調査試験〕 (総プロ)	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の上部構造に関する調査試験	土木研究所 コンクリート研究室
調整等要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の上部構造に関する調査試験	土木研究所橋梁研究室
昭和49年度の調査試験の成果 1. 鋼けた橋の荷重係数設計基準（第1次案）を作成し、これにもとづく試算設計を実施した。 2. 自動列荷重の実態を明らかにするとともに設計活荷重改正原案（道路協会活荷重検討小委員会で審議中）を作成した。 3. 荷重分配横げたの所要剛性を検討した。 4. R C床版の両振れせん断疲労試験を行った。 5. 橋梁の補修補強後の追跡調査を行ない、工法の妥当性を検討した。 6. 実荷重によって橋梁部材に生ずる応力頻度の実態を明らかにした。 7. 曲げと軸力を同時に受ける鋼およびコンクリート部材（橋梁および吊橋主塔）の終局強度と変形特性について検討を加えた。 8. ハイブリッドげたの圧縮フランジ部の座屈強度および引張フランジ部の疲労強度を明らかにするための実験を行なった。 9. プレテンションげた使用の中空床版橋（建設省標準設計）のけた間の継目構造の強度を明らかにした。 10. 短支間部材についての衝撃係数を実測した。	
昭和50年度の調査試験計画 1. 交通荷重実態調査のとりまとめ。 2. 橋梁部材における温度分布の調査。 3. コンクリート標の荷重係数設計基準（第1次案）の作成。 4. 鋼けた橋の荷重係数設計基準（第2次案）の作成。 5. R C床版の両振れせん断疲労試験。 6. たわみ制限値に関する調査。 7. 補修補強効果の確認実験。 8. 衝撃係数の実測。 9. 架設中の安全性に関する調査。 10. 長径間斜張橋の可能性調査。 11. 鋼床版疲労設計法とりまとめ。 12. 曲げと軸力を同時にうける鋼およびコンクリート部材の終局強度と変形特性の調査。 13. ハイブリット合成げたの試算設計。	
調整等要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の上部構造に関する調査試験	日 本 道 路 公 団
昭和49年度の調査試験の成果 1. 跨道橋の構造形式に関する研究 2. 鋼橋塗装の規格基準改訂に関する調査研究 3. 振動特性による橋梁の健全度調査法に関する試験研究 4. アンカーボルトの応力伝達機構に関する研究 5. 低品質骨材を用いたコンクリートの耐久性に関する試験研究 6. 鉄筋コンクリート床版の静的及び繰返し載荷試験 7. 鋼板圧着したコンクリート桁の耐荷力試験 8. 海浜を用いたコンクリート中の鉄筋の発錆に関する試験 9. 各種高強度コンクリートに関する基礎調査	
昭和50年度の調査試験の成果 1. 跨道橋の構造形式に関する調査研究(継続) 2. 高架橋の超多径間連続構造に関する調査研究 3. 鉄筋コンクリート床版の耐荷力に関する試験研究(継続) 4. 低品質骨材を用いたコンクリートの耐久性に関する試験研究(継続) 5. 各種高強度コンクリートに関する基礎調査(継続)	
調整等要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路における交通振動等に関する調査試験	日 本 道 路 公 団
昭和49年度の調査試験の成果 1. 東名高速道路の交通荷重による振動測定	
昭和50年度の調査試験の計画 1. 橋梁・高架部の交通荷重による振動測定	
調整等を要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の上部構造に関する調査試験	首都高速道路公団
昭和49年度の調査試験の成果 1. ひびわれによるコンクリート構造物の耐久性について(その3) 2. 高強度コンクリートを用いた構造部材の研究(その1) 3. フーチングの応力解析(その1) 4. 鋼製型枠合成床版の研究(その1)	
昭和50年度の調査試験の計画 1. ひびわれによるコンクリート構造物の耐久性について(その4) 2. コンクリート橋脚のダクティリティーと終局強度設計法との関係について 3. 高強度コンクリートを用いた構造部材の研究(その2) 4. フーチングの応力解析(その2) 5. 鋼製型枠合成床版の研究(その2)	
調整等要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の上部構造に関する調査試験	阪神高速道路公団
昭和49年度の調査試験の成果 (1) P C 連結げた載荷実験 (2) R C 曲線ホロースラブの現場載荷実験 (3) P C げた部プラスチック板設置に伴う高欄補強の実験 (4) 2次元模型による斜張橋の耐風性に関する風洞実験 (5) 3次元模型 " " (6) 斜張橋の衝撃と有効幅に関する研究 (7) 鋼げた製作の省力化に関する研究	
昭和50年度の調査試験の計画 (1) 3次元模型による斜張橋の耐風性に関する風洞実験 (2) 鋼フィンガージョイントの載荷実験	
調整等を要する問題点	

調 査 試 験 名	機 関 名
橋・高架の道路の上部構造に関する調査試験	本州四国連絡橋公団
昭和49年度の成果 (1) 長大橋の設計 1) 本州四国連絡橋鋼上部構造設計基準の作成 2) 本州四国連絡橋耐風・耐震設計指針の作成 3) 主塔・塔頂・塔基部補強構造の変形解析法の確立 4) ケーブルの2次応力に関する調査 5) トラス橋の振れ変形に対する解析 6) 海峡連絡橋の設計 7) 海峡連絡橋上の列車、自動車の走行性に関する調査 (2) 材料構造 1) 鋼床版舗装の耐久性に関する調査 2) 高張力鋼の溶接継手の疲労に関する調査 3) トラス格点構造の設計法に関する調査 4) ケーブルバンドの設計法に関する調査 5) 非破壊検査法に関する調査 6) 支承構造に関する調査 7) 塗装に関する調査	
昭和50年度の成果 (1) 長大橋の設計 1) 長大橋の設計 2) 塔頂・塔基部の設計法 3) ケーブルの2次応力に関する調査 4) トラス橋の設計法(偏載荷重に対して) (2) 材料構造調査 1) 鋼床版舗装構造の耐久性に関する調査 2) 吊材の疲労に関する調査 3) トラス格点の疲労に関する調査 4) バンドの設計法に関する調査	
調整等を要する問題点	

道路事業の実施にかかる調査試験の 土木研究所資料第 号
打合せ会議（第 2 回）昭和 50 年 2 月（1975）

建設省土木研究所基礎研究室

要 旨 道路事業の実施にかかる調査試験の打合せ会議（第 2 回）
（構造物関係）における議事録及び土木研究所各研究室，四公
団提出の調査試験項目をまとめたものである。



郵便はがき

2 8 0 - □ □

十円切手
をはって
下さい

千葉県千葉市穴川
四丁目十二番五二号
建設省土木研究所
基礎研究室
御中

No. _____

No. _____

配布先氏名

配布先住所





土木研究所資料第 号 部

上記のとおり受領しました。

所 属（住所）

氏 名

印

